

あ お も り

町村 自治

2021 **4** No.1230

令和3年

年4回発行

編集・発行 青森県町村会

〒030-0801 青森市新町二丁目4番1号 TEL. 017-723-1331 FAX. 017-723-1347

HP <http://www.aomori-chousonkai.jp/>

本会定期総会	2
自治功労者表彰名簿	4
除排雪及びワクチン接種に関する要望	6
「30町村まるごと弁当フェア」を終えて	8
いまが旬!	12
随想 横浜町長 石橋 勝大 氏	16



春を知らせる 横浜町の菜の花

よこはままち
横浜町

菜の花フェスティバルが開催される5月には、町内の菜の花畑には鮮やかな黄色が広がります。フェスティバルは、菜の花畑に囲まれた会場で出店や菜の花迷路など、大人も子供も楽しめる内容となっています。

写真はフェスティバルと同時期に開催している「菜の花フォトコンテスト」入賞作品の1枚です。

※今年度の菜の花フェスティバルについては、横浜町HPをご確認ください。

本会定期総会

新型コロナウイルスの拡大防止と地域経済対策、地方創生の推進など決議

永年の功績を称えて全国・県表彰



定期総会には町村長はじめ40人が出席

本会は二月二十六日、青森市のアップルパレス青森で令和三年第一回定期総会を開催し、令和三年度の事業計画及び予算などを決定したほか、新型コロナウイルス感染症の拡大防止と万全な地域経済対策の実施など十項目の決議を採択した。また、議事に先立ち、全国町村会表彰の伝達及び青森県町村会表彰として自治功労者の表彰を行った。

定期総会には、町村長をはじめ来賓及び被表彰者など四十人が出席した。

はじめに浜谷会長があいさつで、「本日表彰を受けられる皆様には、このたびの榮譽に対し心から敬意を表し、お喜びを申し上げる。新型コロナウイルスや地域経済活動に多大な影響を及ぼし、各町村ともその



町村を取り巻く環境について述べる浜谷会長

も六番目の町村数となっているが、私共はこれを大きな『財産』としてとらえ、厳しい時代環境にあっても、三十町村が『連携』と『調和』をもつてきめ細かい行政対応の推進や諸課題の解決に取り組んで参らなければならない。」と述べた。

表彰

自治功労者

対応と地域活性化への取組みに力を尽くしているが、来年度も本会として、引き続きこれまででの政務活動や町村長の健康管理、研修等の活動とともに、県民の県内町村への流動性を活性化させ、町村の魅力や観光資源の再発見を促進するキャンペーン事業などを実施して参りたい。青森県の町村数は、三十町村と全国で

総会では、全国町村会表彰として自治功労者の山本田子町長の表彰伝達を行ったほか、県町村会表彰として自治功労者の山田大鰐町長、戸田六ヶ所村長、樋口佐井村長、橋本

六ヶ所村副村長のほか、一般職員百五十二名に表彰状と記念品を授与した。

表彰終了後、来賓の三村知事が祝辞を述べ、また、同じく来賓として出席の石戸県町村議会議長会会長、鉄永県総務部長、宇野県総務部市町村課長が紹介された。

議事

令和三年度

予算を決定

議事に先立ち、金澤副会長（大間町長）が令和三年一月十八日をもって町長を退任したことに伴い、副会長が欠員となったことから、副会長の選任を行い、新たに野崎大間町長を選任した。

引き続き、浜谷会長が議長となつて議事に入り、令和三年度事業計画案及び予算案など議案四件について審議し、それぞれ原案どおり承認、決定した。

○議案第一号 令和三年度青

森県町村会事業計画案（概要）
「コロナ禍による影響や制約の中においても県、全国町村会及び関係団体と連携を緊密



来賓祝辞を述べる三村知事

の財政の安定と町村職員等の福祉の向上に資するため、より一層の利用を促進し、もつて町村の振興発展と活力ある地域社会の実現に寄与していく。

○議案第二号

令和三年度青森県町村会会費案
「会費総額は、

六百七十七万三千円とする。

○議案第三号 令和三年度青

森県町村会一般会計予算案
「収入支出予算総額を、収入支出それぞれ二億四千五百七十四万九千円（対前年度比二百五十七万三千円 八・一％減）とする。

○議案第四号 令和三年度青

森県町村会公有物件共済事業等特別会計予算案
「經常収支計を、四千七百三十一万六千円とする。

また、総会終了後、県健康福祉部の有賀部長と嶋谷次長より新型コロナウイルスワクチンの接種体制の整備について説明があった。

決議（項目抜粋）

- 1 新型コロナウイルス感染症の拡大防止と万全な地域経済対策の実施を図ること
- 1 地方創生推進交付金、「まち・ひと・しごと創生事業費」等を拡充し、地方創生の更なる推進を図ること
- 1 地方交付税等の一般財源総額を確保すること
- 1 農林漁業者が将来にわたって意欲と希望を持って経営に取り組めるよう、経済のグローバル化に対応した農林水産業の振興施策を講じること
- 1 農林漁業の振興による農山漁村の再生・活性化を図るとともに、田園回帰の時代を拓き、都市と農山漁村の共生社会を実現すること
- 1 地方分権改革を推進すること
- 1 医療・保健・福祉・子育て支援施策を強力に推進するとともに、地域医療の確保・充実のため医師確保対策を推進すること
- 1 防災・減災対策等を推進するとともに、道路、河川、生活環境等の整備促進を図ること
- 1 経済の活性化を図るため、地域資源を最大限活用した魅力ある産業の創出や労働力確保対策等、経済・雇用施策を推進すること
- 1 陸路、海路、空路の交通網と魅力ある地域資源を活用した観光振興を推進し、交流人口拡大による地域経済の活性化を図ること

受賞おめでとうございませす

全国町村会表彰 自治功労者（敬称略）

町村長（就任三期）

三戸郡 田子町長

山本 晴美

青森県町村会表彰 自治功労者（敬称略）

町村長（在職十年以上）

南津軽郡 大鰐町長

山田 年伸

上北郡 六ヶ所村長

戸田 衛

下北郡 佐井村長

樋口 秀視

副町村長（在職十五年以上）

上北郡 六ヶ所村副村長

橋本 晋

一般職の職員

（在職二十五年以上）

平内町 小形正樹、船橋浩教

外ヶ浜町 蝦名明、阿保則子、

津嶋暢、木村道観、對馬州剛、

石田早苗、工藤歩美、久慈良

子、石田雅一、川村貴文、清

水勝徳

蓬田村 吉田聡、工藤治郎

鱒ヶ沢町 岩谷夕子、碓谷秀

雄、前田輝美、世永寿里、工

藤彩、小山西内寿

深浦町 米谷智明、増富勇人、

工藤宏昭、長谷川賢

西目屋村 三浦勝

藤崎町 熊谷美佳子

大鰐町 佐藤由実子

田舎館村 竹内理智子

板柳町 田中禎一、山内栄美

子、小枝咲子、三上晴司、會

津鉄大、三戸信彦、外川城健、

竹内ゆかり

鶴田町 神嘉徳、一戸泰人、

神達郎、秋庭誠一、佐藤春奈、

山本理、山田修弘、中野康宏

中泊町 小寺忠昭、山崎聖一、

三上晃瑠、田中綾人、古川優、

木元剛、木村憲和、成田寿美、

鎌田知美、木村実佳子

野辺地町 古林輝樹、木明修

七戸町 田村教男、佐藤源太、

大沢田慎一

六戸町 田中由紀子、金崎純

一、佐藤良一、鈴木博文、佐々

木和仁、高橋千秋

横浜町 菊池義規、若佐貴仁、

澤谷誠

おいらせ町 田中貴重、栗嶋

直子、堤雅之、川口邦彦、栗

嶋泰幸、木村英樹

六ヶ所村 市川秀和、木村雅

勝、佐藤郁海、橋本洋光、吉

岡トモ子、杉山俊幸、豊川沙

織

大間町 赤田一美

東通村 田中敏幸、伊勢田

禎、相内文秋、蒲巖、畑中典幸、

川上博之、川村光宏、吉田悟

伊勢田整、青木貴志、渡部淳

也、二本柳博英

佐井村 山本尚樹、宮澤淳、

宮澤奈々子

三戸町 武士沢野寿子、松崎

達雄、多賀昭宏、北村哲也、

櫻井優子

五戸町 赤坂哲也、町屋剛、

沼辺由紀子、新井山咲子、秋

元敦子、三上靖隆、若林桂子、

三浦るみ子

田子町 加藤典生、山本美智

子、梅内義幸、日野沢史子

南部町 岩間孝幸、藤嶋昭彦、

小笠原圭、三上幸生、長岡裕

子、戸田忍、工藤牧子

階上町 平戸由紀子、荒道敬

子、畑山真也、境宏幸、茨島

俊行、中居勉

新郷村 福山佐登志、福山徹、

小沢幸寛、横道敏克、高杉亮

平

中部上北広域事業組合 鶴ヶ

崎聡、甲田淳司、松山俊一、

仁和清人、市ノ渡猛、長畑隆

一、乙部昌秀、蛭沢真澄、田

中多恵子

北部上北広域事務組合 能登

谷由紀子、千葉功、磯田利弘、

高田明美

鱒ヶ沢地区消防事務組合 松

宮高、外崎豪洋、工藤諭、木

村太志、宮西辰義

三戸地区環境整備事務組合 〃

澤口順一



左から樋口佐井村長、戸田六ヶ所村長、山田大鰐町長、山本田子町長

令和3年度事業計画 などを審議

令和3年第1回理事会・生協支部委員会



年第一回理事会を開催した。出席者は、浜谷会長をはじめ役員町村長十一人。

理事会では、令和3年度事業計画などの議案四件並びに副会長の選任などの協議事項四件について審議し、それぞれ原案どおり承認、決定した。事業計画及び予算案は二月二十六日開催の本会定期総会に提出することとした。

議案

- 議案第一号 令和3年度青森県町村会事業計画案
- 議案第二号 令和3年度青森県町村会会費案
- 議案第三号 令和3年度青森県町村会一般会計予算案
- 議案第四号 令和3年度青森県町村会公有物件共済事業等特別会計予算案

協議事項

- 協議事項一 副会長の選任について

本会は二月二十六日の定期総会に先立ち、二月三日、青森市の県共同ビルで、令和三

- 協議事項二 令和三年第一回青森県町村会定期総会次第案並びに案件について
- 協議事項三 決議案について

- 協議事項四 令和三年の町村会会長等の選任について
- その他(事務局説明事項)
・令和三年町村会関係主な行事予定

市町村長会議提言事項を決定

第2回理事会

本会は三月二十五日、青森市の県共同ビルで令和三年第二回理事会を開催した。出席者は、浜谷会長をはじめ役員町村長九人。

理事会では、令和3年度市町村長会議(町村の部)における提言事項について協議し、原案どおり決定した。

協議事項

- 協議事項一 令和3年度市町村長会議(町村の部)についてⅡ次の十項目を同会議において提言することを決定した。

- ・30町村まるごと弁当フェア
- ・30町村にいらっしやいませ
- キャンペーン事業(案)

第一回生協支部委員会

理事会終了後、引き続き、全国町村職員生活協同組合県支部は委員会を開催し、議案一件を原案どおり承認、決定

し、本会定期総会に報告することとした。

議案

- 議案第一号 令和3年度全国町村職員生活協同組合青森県支部会計予算案Ⅱ収入支出それぞれ三千八百五十二万五千円(対前年度比三百九十万二千円十一・二%増)とする。

- 1 新型コロナウイルス感染症対策について
- 2 地方創生の推進について
- 3 町村財政基盤の充実強化について
- 4 電子行政の推進について
- 5 海岸漂着物等の対策について
- 6 医療・保健・福祉・子育て支援施策の推進について
- 7 農林水産業の振興について



市町村長会議の提言事項を協議

- 8 社会基盤の整備促進等について
- 9 原子力施設の安全対策及びエネルギー政策について
- 10 少人数教育の推進について

道路除排雪経費の 財政支援等を要望

本会は、県、市長会との三者合同により、道路除排雪経費に対する財政支援に関して国土交通省へ、特別交付税の配分に関して総務省へ要望した。

これは、町村の除排雪作業にかかる費用が増大していることを受け、国の財政支援を求め実施したものの。

今年、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言発出を踏まえ、県東京事務所を通し、各県庁へ書面により要望書を提出し



た。

● 要望先及び配布期日

・ 国土交通省（財務省、県選出国会議員会）

令和三年一月二十七日

・ 総務省（県選出国会議員会）

令和三年二月十五日

除排雪及びワクチン接種に関して要望

県市長会と連名で県に

本会は二月二十四日、県市長会との連名による除排雪及

びワクチン接種に関する要望

を実施し、浜谷本会会長と小

野寺県市長会会長が三村知事に

対し、「豪雪時における除排雪に関する要望書」及び「新型コロナウイルスワクチン接種に関する要望書」を提出した。

要望手交後、三村知事からは、ワクチン接種に関して、今後は各市町村の状況把握に努め、個別の相談にも対応するなど密接に連携を図りながら積極的な支援を進めていきたい旨のコメントがあった。

新型コロナウイルスワクチン接種に関する要望

新型コロナウイルスワクチン接種は、国主導のもと、都道府県の協力により、市町村において実施するものとされており、現在、県内各市町村はタイトなスケジュールの中で、住民が安心して接種できる体制の構築に向け、全力で準備を進めているところである。

ついでに、住民が混乱することなく、安心して新型コロナウイルスワクチンを接種できるよう、次の事項について、特段の措置を講じるよう要望する。

記

1. 市町村におけるワクチン接種のための医療従事者等の確保について協力すること。
2. 県は市町村への支援機能として、市町村からの相談に応じるほか、国のコールセンターを紹介するにとどまらず、市町村が抱えている疑問点について、共有できる体制を構築すること。
3. ワクチン接種に関する国への疑義照会については、早急な回答が必要であるにも関わらず、国は後日まとめてメールにより回答しており、業務に支障を来していることから、県は、国に対して、市町村に早急な回答を提示するよう働きかけること。

令和3年度予算など決定

総合事務組合議会定例会

県市町村総合事務組合は二月二十六日、青森市のアップパレス青森で令和三年第一回議会定例会を開催した。出席者は浜谷管理者をはじめ、議員等九市町村長。

定例会では浜谷管理者が令和三年度予算など三件の議案と一件の報告事項の提案理由を説明し、それぞれ審議した結果、原案どおり議決、同意並びに承認した。

議案・報告は次のとおり。なお、非常勤職員公務災害補償状況について、説明を行ったが、公務災害の多発に伴い、災害防止のために適切な対応を行うよう求めた。（十一ページ参照）

○ 報告第一号 専決処分した事項の報告及び承認を求めるの件（青森県市町村総合事務組合職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例）

○ 議案第一号 令和三年度組合一般会計予算案Ⅱ歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ八億二千六十八万八千円とする。

○ 議案第二号 令和三年度組合市町村税等滞納整理特別会



令和3年度予算などを審議

町村長選挙結果

西目屋村長

桑田くわた

豊昭とよあき氏



前村長の辞職に伴う西目屋村長選挙は、二月二十一日投票が行われ、新人の桑田豊昭氏（64）が初当選を果たしました。
 〈略歴〉村議会議員

大間町長

野崎のざき

尚文なおふみ氏



任期満了に伴う大間町長選挙は、一月十七日、投票が行われ、新人の野崎尚文氏（65）が初当選を果たしました。
 〈略歴〉町産業振興課長、生活整備課長、住民福祉課長

風間浦村長

富岡とみおか

宏ひろし氏



任期満了に伴う風間浦村長選挙は、一月二十六日、告示され、現職の富岡宏（58）が無投票で再選を果たしました。
 〈略歴〉村教育委員会事務局副参事

青森県町村長等名簿

令和3年4月1日現在
町村数30町村(22町8村)

町村	区分	町村長氏名	生年月日	当選回数	任期満了年月日	副町村長氏名
東郡	平内町	船橋茂久	S24. 7.17	3	R 5.11.14	山田光昭
	今別町	中嶋久彰	S30. 7.18	1	R 3.10.12	
	外ヶ浜町	山崎結子	S56. 6.21	1	R 3. 4.23	
	蓬田村	久慈修一	S25. 8. 1	2	R 3.11. 8	工藤洋一
西郡	鱒ヶ沢町	平田衛	S34.11. 1	1	R 3.12.26	加藤隆之
	深浦町	吉田満	S28. 9. 9	4	R 6.12.20	菊池雄司
中郡	西目屋村	桑田豊昭	S32. 1.11	1	R 7. 2.20	
南郡	藤崎町	平田博幸	S32. 6. 2	3	R 5.11.19	五十嵐晋
	大鰐町	山田年伸	S27. 3.11	3	R 4. 7.21	
	田舎館村	鈴木孝雄	S12. 2.10	5	R 6.11.17	葛西幸男
北郡	板柳町	成田誠	S28. 3. 4	2	R 5. 4.29	村上孝夫
	鶴田町	相川正光	S28.10.29	2	R 4. 8.20	成田正利
	中泊町	濱館豊光	S34.10. 3	1	R 3. 4.23	横野彰吾
上北郡	野辺地町	野村秀雄	S38. 4.15	1	R 5.10.26	江刺家和夫
	七戸町	小又勉	S24. 1. 2	4	R 3. 4.23	高坂信一
	六戸町	吉田豊	S25. 3.28	8	R 6. 1.27	下田正幸
	横浜町	石橋勝大	S16. 9.27	1	R 6.12.11	
	東北町	蛭名敏治	S34. 9.23	1	R 3. 4.23	向井正弘
	おいらせ町	成田隆	S26. 2. 4	2	R 4. 3.25	小向仁生
	六ヶ所村	戸田衛	S22. 1.28	2	R 4. 7. 6	橋本晋
下北郡	大間町	野崎尚文	S30.11.17	1	R 7. 1.18	
	東通村	越善靖夫	S17. 1. 7	6	R 3. 4.12	林春美
	風間浦村	富岡宏	S37. 4.27	2	R 7. 2.18	
三戸郡	佐井村	樋口秀視	S26. 4.10	2	R 4. 4.26	田名部二郎
	三戸町	松尾和彦	S38. 5. 9	2	R 6.12.15	馬場浩治
	五戸町	若宮佳一	S41.12.30	1	R 5. 6.26	大久保均
	田子町	山本晴美	S39. 4.10	3	R 6. 1.14	福田博実
	南部町	工藤祐直	S30. 5.22	6	R 4. 2.11	佐々木俊昭
	階上町	浜谷豊美	S31. 8.23	4	R 3.12.23	沼沢範雄
新郷村	櫻井雅洋	S27. 5.25	1	R 3. 5.28		



はじめに

本会は、一月二十五日から三月五日の全六週間にわたり、県共同ビル地下に店舗を構える新菜葉（いなな）との共同企画で「30町村まるごと弁当フェア」を開催しました。

新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、本会では町村経済の活性化のため昨年来マイクローツーリズムの推進に取り組んでいます。

本フェアは、昨年九月に実施した県内地元三紙での30町村の「食」の魅力の情報発信に続き、春以降の各町村への流動の活発化のきっかけづくりや県内30町村の食材の消費拡大につなげることを目的として本会では初の試みとなるものです。

フェア期間中の概況

第一週の三戸郡を皮切りに、県内六圏域、一週間ごとに各

郡の町村の厳選された旬の食材が盛りだくさんのお弁当を、各日30食限定、六百円で販売しました。



浜谷会長による試食会

フェア開催に先立ち開催した、報道機関を招いての浜谷会長による試食会が各報道機関で報じられたこともあり、フェア初日から連日お弁当を買い求める多数のお客様が訪れました。多い日には二十名以上の行列ができ、店舗の開店時間を早めるなどし、密を回避する対応をとりました。

お弁当の販売のほか、本会

作成の「あおもり町村ガイド」での配布・PRや、本会ホームページでの毎日の情報発信、またお客様の口コミ効果等もあり、全日程即売御礼（全期間総販売個数約一千百個）により、大盛況のうちに六週間の開期を終えることができました。



お弁当を買い求める多数のお客様



あおもり町村ガイド配布でPR

購入者アンケート

最終週に行った購入者アンケート結果によると、

◆幅広い年齢層の方が共同ビル内外、市内外各方面からご購入

◆価格設定（六百円）も七割以上の方が「ちょうどよい」と満足

◆九割以上の方がメニューで使用している食材を「購入してみたい」と、購買意欲に結び付いている

◆九割以上の方が「とても良かった」「まあまあ良かった」とフェア開催に好評

◆店舗での町村加工品の販売についてほぼ全員が「ぜひ利用したい」「気が向けば利用したい」と今後の店舗での商品販売に期待ができる

◆次回の開催について九割の方が「必ず来る」「たぶん来る」とリピーター獲得の可能性が高い
など、当初の想定を上回る反響をいただきました。

終わりに

初の試みとなった「30町村まるごと弁当フェア」が成功裏に終わることができたのも、これもひとえに旬の食材をご

提供いただいた各町村の皆様のご支援、ご協力の賜物です。この場を借りて、厚く御礼申し上げます。

依然として、コロナ禍の収束は見通せませんが「30町村まるごと弁当フェア」が、コロナ禍がある程度収束して以降、県民の皆さんが身近な町村に足を運んでいただくきっかけや、県内30町村の食材の消費拡大と地産地消につながる一助になれば幸いです。

本会としても、コロナ禍による影響や制約の中でも、引き続き、30町村を下支えするべく、様々な試みに積極的に取り組んで参りたいと思えます。



新菜葉、町村会スタッフ一同

町村職員採用試験

令和二年度実施状況と
令和三年度実施について

令和二年度実施状況

町村等職員（一部事務組合等含む）の任用事務の公平・効率化を図るため、本会が町村等の要請に基づき実施する町村職員採用試験の令和二年度実施状況は下表のとおり。実施日は、日本人事試験研究センターが定めた全国統一試験の七月十二日（日）と九月二十日（日）の二回。また、その他の期日に個別試験を実施した。

令和三年度実施申込受付中

令和三年度に町村職員採用試験の実施を申込みする団体は、本会指定の期日までに、所定の様式にて本会へお知らせ願います。実施申込みや試験実施科目など、ご不明な点は本会業務共済課【電話017（723）1331】にお問い合わせ願います。

「令和三年度町村職員採用統一試験の概要」

採用統一試験の概要

- 試験期日・職種
 - ・第一回（大学卒業程度）
令和三年七月十一日（日）
 - ・第二回（短大・高校卒業程度）
令和三年九月十九日（日）

○場所

第一、二回とも青森市内

○実施申込方法

各団体に既にご案内している「令和三年度町村職員採用試験実施申込書」を、**四月十五日（木）**までに本会へ送付願います。

○その他留意事項等

- ・受験者数の報告
 - ・第一回（大学卒業程度）は六月三日（木）、第二回（短大・高校卒業程度）は八月二日（月）までに、受験者名簿を本会へ提出願います。
- ・公募方法
 - ・受験者公募の手続きは各団体が行うこととし、右記の名簿提出期日に間に合うよう公募をお願いします。受験票は各団体が作成し、試験当日に受験者が必ず持参するよう周知徹底を図ってください。

・試験当日の実施運営

例年、本会職員と試験実施

団体担当者が連携し対応しておりますので、ご協力願います。

・担当者事前説明会

試験係員となる試験実施団体担当者を対象とした事前説明会を六月下旬に予定しています。

ます。試験実施申込みのあった団体に後日ご案内します。

・個別試験

試験問題の作成及び採点に係る経費は、団体申込みの科目料金を申込人数に応じて負担いただきます。

統一試験日以外の期日の個別試験の実施は、本会は問題用紙等の提供・採点のみ行います。実施団体は、試験日の一カ月前までに本会にご連絡ください。

令和二年度町村職員採用統一試験受験申込者数（統一・個別合算）

（単位：人）

団体名	職 種														合計		
	大学卒業程度				短大卒業程度					高校卒業程度						社会人	
	行政	土木	保健師	学芸員	一般	社会福祉	保健師	栄養士	看護師	臨床検査技師	一般	一般(障)	消防	土木			建築
平内町	12		6								1	7				26	
今別町	1					2				4		1			7	15	
外ヶ浜町							4			10		2				16	
蓬田村										4						4	
鎌ヶ沢町	7									10						17	
深浦町							3			9			2	1	26	41	
藤崎町	29						4			6						39	
大鰐町	12	2					3			5			1		1	24	
田舎館村	20												1			21	
板柳町	9							11	1	9	1					31	
鶴田町	5		3							8						16	
中泊町	6									6						12	
野辺地町	6						1			5						12	
七戸町	6									2						8	
六戸町	7				3					7	2					19	
横浜町	2									7						9	
東北町	10		2							3						15	
おいらせ町	15		2	3	5	3	2			6	1					37	
六ヶ所村	6									7						13	
大間町										10						10	
東通村	2									4					3	9	
風間浦村	4													1	3	5	
佐井村																3	
三戸町	4															4	
五戸町	8												4			21	
田子町			1							8						1	
南部町	8									9						17	
階上町	11	7									1				5	24	
中広部										4		8				12	
青森総合事務所															29	29	
三戸環境整備事務所	5															5	
西福北社					3											3	
上福北社										14						14	
国大民健															1	1	
大窪ケ防												5				5	
北広域										5		10				15	
合計	195	9	14	3	8	8	14	4	11	1	162	6	33	8	1	76	553

令和3年県広報コンクール 広報紙総合の部

「広報みさわ」が特選

本会に事務局を置く県広報 広聴協議会は、一月二十五日、青森市の県共同ビルで令和三年県広報コンクール審査会を開催した。

同コンクールは市町村の広報活動の向上を目的に開催しているもので、県内市町村から広報紙二十一点、写真四十点、映像三点の応募があった。

六名の審査委員による厳正な審査の結果、広報紙総合の部で三沢市の「広報みさわ」（令和2年8月号）が特選、三戸町の「広報さんのへ」（令和2年11月号）が準特選となった。上位入賞作品は、日本広報協会主催の全国広報コン

広報紙部門（総合の部）
特選 三沢市「広報みさわ」



広報紙部門（総合の部）
準特選

三戸町「広報さんのへ」



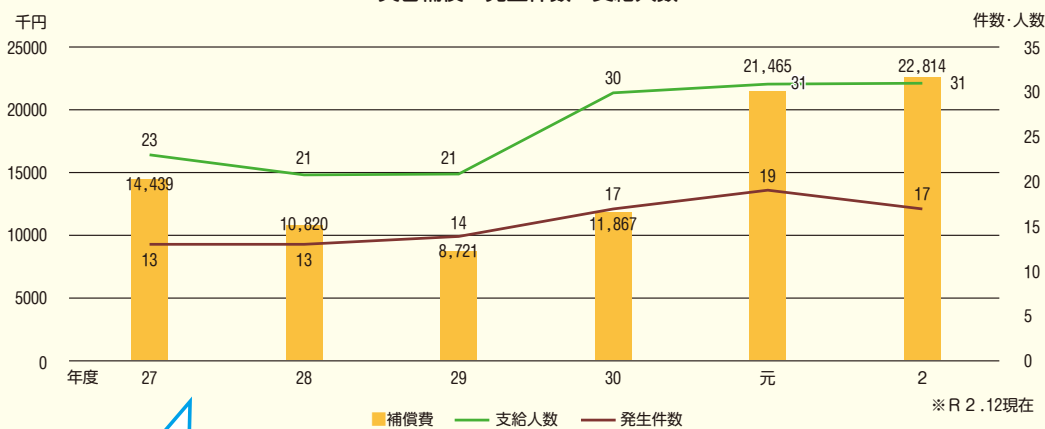
青森県市町村
総合事務組合

非常勤職員
公務災害補償

ここ数年、市町村の非常勤職員に係る公務災害補償の**災害発生件数及び支給人数並びに重症事案が増えている**傾向にあります。

各団体におかれては、多種多様な公務に従事する非常勤職員の日常的な職務に係る危険を把握するとともに、職務内容の危険度に応じたきめ細かな未然防止に取り組むようお願いします。

災害補償・発生件数・支給人数



H30から3年連続で重症事案の補償に対応するため一時金を支給

単位：人数（人）、金額（円）

年度	発生件数	支給状況			財政調整基金 取崩額	市町村負担金 (事務負担金除く)
		人数	金額			
R2 R2.12末	17	31	22,813,938	11,236,000	12,931,760	
		内訳	災害補償	26	7,640,703	
		一時金	2	9,686,640		
		年金(介護含)	3	5,486,595		
R元	19	31	21,465,419	6,588,000	13,349,880	
		内訳	災害補償	26	10,339,361	
		一時金	2	4,783,302		
		年金(介護含)	3	6,342,756		
H30	17	31	11,866,937	0	13,659,192	
		内訳	災害補償	26	4,389,381	
		一時金	2	1,134,800		
		年金(介護含)	3	6,342,756		

災害防止のために
適切な対応を

令和3年青森県広報コンクール審査結果

広報紙部門（総合の部）																																									
特選	三 沢 市	「広報みさわ」	8月号※																																						
準特選	三 戸 町	「広報さんのへ」	11月号※																																						
<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;"> <table border="0"> <tr> <td>入選</td> <td>弘 前 市</td> <td>「広報ひろさき」</td> <td>11月1日号</td> </tr> <tr> <td>佳作</td> <td>平 川 市</td> <td>「広報ひらかわ」</td> <td>8月号</td> </tr> <tr> <td>奨励賞</td> <td>十和田市</td> <td>「広報とわだ」</td> <td>12月号</td> </tr> <tr> <td>奨励賞</td> <td>む つ 市</td> <td>「広報むつ」</td> <td>2月号</td> </tr> </table> </td> <td style="width: 50%;"> <table border="0"> <tr> <td>入選</td> <td>深 浦 町</td> <td>「広報ふかうら」</td> <td>12月号※</td> </tr> <tr> <td>佳作</td> <td>田舎館村</td> <td>「広報いなかだて」</td> <td>3月号</td> </tr> <tr> <td>奨励賞</td> <td>弘 前 市</td> <td>「広報ひろさき」</td> <td>9月1日号</td> </tr> <tr> <td>奨励賞</td> <td>東 北 町</td> <td>「広報とうほく」</td> <td>6月号</td> </tr> <tr> <td>奨励賞</td> <td>新 郷 村</td> <td>「広報しんごう」</td> <td>3月号</td> </tr> </table> </td> </tr> </table>				<table border="0"> <tr> <td>入選</td> <td>弘 前 市</td> <td>「広報ひろさき」</td> <td>11月1日号</td> </tr> <tr> <td>佳作</td> <td>平 川 市</td> <td>「広報ひらかわ」</td> <td>8月号</td> </tr> <tr> <td>奨励賞</td> <td>十和田市</td> <td>「広報とわだ」</td> <td>12月号</td> </tr> <tr> <td>奨励賞</td> <td>む つ 市</td> <td>「広報むつ」</td> <td>2月号</td> </tr> </table>	入選	弘 前 市	「広報ひろさき」	11月1日号	佳作	平 川 市	「広報ひらかわ」	8月号	奨励賞	十和田市	「広報とわだ」	12月号	奨励賞	む つ 市	「広報むつ」	2月号	<table border="0"> <tr> <td>入選</td> <td>深 浦 町</td> <td>「広報ふかうら」</td> <td>12月号※</td> </tr> <tr> <td>佳作</td> <td>田舎館村</td> <td>「広報いなかだて」</td> <td>3月号</td> </tr> <tr> <td>奨励賞</td> <td>弘 前 市</td> <td>「広報ひろさき」</td> <td>9月1日号</td> </tr> <tr> <td>奨励賞</td> <td>東 北 町</td> <td>「広報とうほく」</td> <td>6月号</td> </tr> <tr> <td>奨励賞</td> <td>新 郷 村</td> <td>「広報しんごう」</td> <td>3月号</td> </tr> </table>	入選	深 浦 町	「広報ふかうら」	12月号※	佳作	田舎館村	「広報いなかだて」	3月号	奨励賞	弘 前 市	「広報ひろさき」	9月1日号	奨励賞	東 北 町	「広報とうほく」	6月号	奨励賞	新 郷 村	「広報しんごう」	3月号
<table border="0"> <tr> <td>入選</td> <td>弘 前 市</td> <td>「広報ひろさき」</td> <td>11月1日号</td> </tr> <tr> <td>佳作</td> <td>平 川 市</td> <td>「広報ひらかわ」</td> <td>8月号</td> </tr> <tr> <td>奨励賞</td> <td>十和田市</td> <td>「広報とわだ」</td> <td>12月号</td> </tr> <tr> <td>奨励賞</td> <td>む つ 市</td> <td>「広報むつ」</td> <td>2月号</td> </tr> </table>	入選	弘 前 市	「広報ひろさき」	11月1日号	佳作	平 川 市	「広報ひらかわ」	8月号	奨励賞	十和田市	「広報とわだ」	12月号	奨励賞	む つ 市	「広報むつ」	2月号	<table border="0"> <tr> <td>入選</td> <td>深 浦 町</td> <td>「広報ふかうら」</td> <td>12月号※</td> </tr> <tr> <td>佳作</td> <td>田舎館村</td> <td>「広報いなかだて」</td> <td>3月号</td> </tr> <tr> <td>奨励賞</td> <td>弘 前 市</td> <td>「広報ひろさき」</td> <td>9月1日号</td> </tr> <tr> <td>奨励賞</td> <td>東 北 町</td> <td>「広報とうほく」</td> <td>6月号</td> </tr> <tr> <td>奨励賞</td> <td>新 郷 村</td> <td>「広報しんごう」</td> <td>3月号</td> </tr> </table>	入選	深 浦 町	「広報ふかうら」	12月号※	佳作	田舎館村	「広報いなかだて」	3月号	奨励賞	弘 前 市	「広報ひろさき」	9月1日号	奨励賞	東 北 町	「広報とうほく」	6月号	奨励賞	新 郷 村	「広報しんごう」	3月号				
入選	弘 前 市	「広報ひろさき」	11月1日号																																						
佳作	平 川 市	「広報ひらかわ」	8月号																																						
奨励賞	十和田市	「広報とわだ」	12月号																																						
奨励賞	む つ 市	「広報むつ」	2月号																																						
入選	深 浦 町	「広報ふかうら」	12月号※																																						
佳作	田舎館村	「広報いなかだて」	3月号																																						
奨励賞	弘 前 市	「広報ひろさき」	9月1日号																																						
奨励賞	東 北 町	「広報とうほく」	6月号																																						
奨励賞	新 郷 村	「広報しんごう」	3月号																																						

広報紙部門（町村部）			
入選	東 北 町	「広報とうほく」	4月号
佳作	南 部 町	「広報なんぶちょう」	7月号
奨励賞	田舎館村	「広報いなかだて」	9月号
奨励賞	六ヶ所村	「広報ろっかしょ」	11月号
奨励賞	五 戸 町	「広報ごのへまち」	6月号

広報写真部門（一枚写真の部）			
入選	つがる市	「広報つがる」	11月号※
佳作	東 北 町	「広報とうほく」	9月号
奨励賞	深 浦 町	「広報ふかうら」	8月号

広報写真部門（組み写真の部）			
入選	深 浦 町	「広報ふかうら」	12月号※
佳作	田舎館村	「広報いなかだて」	3月号
奨励賞	弘 前 市	「広報ひろさき」	9月1日号
奨励賞	東 北 町	「広報とうほく」	6月号
奨励賞	新 郷 村	「広報しんごう」	3月号

映像部門			
入選	東 北 町	「まるごと東北☆クッキング11月号」※	
佳作	む つ 市	「むつ市長の62ちゃんねる『その長さ日本一!？下北半島縦貫道路で〇〇対決!』」	
奨励賞	青 森 市	「あおもり創GOOD!～防災SO（創）SAFE!～」	

※印は日本広報協会主催の全国広報コンクールへの推薦作品



災害・補償事例

職名：管理員（62歳）
施設内でスリッパを持ち上げようとしたところ、段差で足を踏み外し尻餅をついて負傷

腰椎圧迫骨折
障害等級第8級

療養・休業補償
1,104,683円
一時金
7,350,880円

職名：臨時運転手（59歳）
不具合を修理するため停車させていた草刈り機がバックし脱輪したため、本人が側溝に落ち、その後落ちてきた草刈り機の車輪に足を巻き込まれ裂傷

右大腿部デグ
ローリング損傷
障害等級第14級

療養・休業補償
5,225,022円
一時金
1,370,000円

主な職名：臨時作業員
（庁舎・公園等）
植木の剪定や草刈り作業等で蜂の巣を刺激し負傷

蜂刺傷 ※ほとんどは軽傷ですが場合によっては、アナフィラキシー・ショックを起こす場合があり、命に危険が及ぶ確率が高くなります
令和2年度
5件発生

災害防止に向けて

- ・ 作業中の足元の確認、安全装備、日頃からの整理整頓を
- ・ 不注意による事故を防ぐため、慣れた作業でも慎重に
- ・ 蜂（虫）刺傷防止のため、作業を行う季節・時間・服装（長袖、長ズボン、帽子、厚手の手袋、着衣の色等）に十分注意
- ・ 熱中症防止のため、こまめな水分補給と暑さ対策



問い合わせ先 平内町役場水産商工観光課
TEL 017-755-2118

“食”がテーマの施設ひらないまるごとグルメ館「ホタテ一番」では、全メニューにホタテを使っているのはもちろん、お米は青森ブランド米を100%使用し、とことんこだわった創作料理が楽しめます。

中でも一番人気の新・ご当地グルメ「平内ホタテ活御膳」は5つのホタテの美味しさをフルコースで味わえます。ぜひご堪能ください。

平内産ホタテを使った創作メニューが勢揃いのご当地レストラン

いまが旬!
ひらないまるごと
平内町

東津軽郡



問い合わせ先 ふじさき食彩テラス
TEL 0172-65-3660

りんごふじ誕生80年を記念してつくられた特別なりんごジュースです。

藤崎町の「ふじ原木公園」で保存育成されているふじの原木（株分樹）2本から収穫した貴重な果実を100%使用しています。

発祥の地藤崎町から日本一、そして世界一へと成長したりんご「ふじ」にあやかって、前途ある新しい旅立ちやお祝いにぴったりの数量限定プレミアムな逸品をご堪能ください。

りんご「ふじ」誕生80年記念「ふじ原木ジュース」

いまが旬!
ふじさきま
藤崎町

南津軽郡



問い合わせ先 ふるさとセンター総合案内所
TEL 0172-72-1500

今年もミニトマトの収穫体験が始まりました。収穫できるのは赤や黄色、オレンジなど食味や色もさまざまな5品種。1人200円で約200グラムの収穫が可能です。実施は6月末まで(予定)。※生育状況や作業上、体験できない日もありますので、事前にお問い合わせください。

【時間】 9時～12時、13時～16時

ふるさとセンターミニトマト収穫体験

いまが旬!
いたやなぎま
板柳町

北津軽郡



問い合わせ先 六戸ブランド研究会(六戸町観光協会)
TEL 0176-55-4495

「青森シャモロック ザ・プレミアム #6」は、地鶏本来の味を追求するために、選抜したオスを通常期間からさらに30日間延長飼育し、ガーリック粉末を加え旨味成分を高める特別飼料を給与しました。

弾むような肉を噛みしめれば、ジューシーかつパワフルな旨味が口いっぱいに広がります。また、お出汁は、濃厚なのに雑味のないすっきりした味わいです。

青森シャモロックザ・プレミアム #6 (ナンバーシックス)

いまが旬!
ろくのへま
六戸町

上北郡

いまが旬!

六ヶ所村

上北郡

ろくかしょむら

村の「旬」を感じることで
 きたる特産品販売施設 六ヶ所館

平成30年4月にオープンし、連日多くの方々に御来店いただいております。

今年度、村の特産品である長いも、ごぼう、ブルーベリーを使用した3種類のドレッシングを開発しました。それぞれの特徴を生かしたドレッシングとなっておりますので、ぜひ御賞味ください。



問い合わせ先 一般社団法人 六ヶ所村観光協会
 TEL 0175-71-3155

いまが旬!

風間浦村

下北郡

かまねうらむら

海峡の海の幸に舌鼓!
 下風呂おんせん堂

「下風呂温泉 海峡の湯」1Fにある「下風呂おんせん食堂」。

津軽海峡で水揚げされた新鮮な海の幸を味わえる食堂で、名物・鮫鱈やイカ刺し、平目やサーモンなど、ここでしか味わえない地魚を定食や丼ぶり、あたたかい鍋などでいただけます。海峡の湯自慢のグルメをぜひ味わってください。

【営業時間】
 昼の部 11:00~14:00 夜の部 17:00~20:00
 【定休日】
 毎週 火曜日、年末年始 ※但し連休の場合は、別日になります



問い合わせ先 下風呂おんせん食堂
 TEL 070-4331-3633

いまが旬!

田子町

三戸郡

たっこがまち

リニューアルしました! 田子
 ガーリックステーキごはん

「田子ガーリックステーキごはん (愛称: ガリステごはん)」の前菜が、2021年バージョンにリニューアルされました。「ふるさとの味」をテーマに掲げ、今回初めて田子高校生からのアイデアを取り入れました。また、S-1 あおもりとのコラボ企画として開発した平内産ベビーホタテ×ニンニク料理も見事です。

ガリステごはんは町内3店舗で好評提供中です。にんにく生産地だからこそ提供できる「ニンニクフルコース」是非ご賞味ください!

○田子ガーリックステーキごはん
 ホームページ
<https://www.takkogarlicsteak.com/>



問い合わせ先 田子ニンニク料理推進協議会
 (田子町役場産業振興課内)
 TEL 0179-20-7114

いまが旬!

新郷村

三戸郡

しんきょうむら

キャンプ、サウナ、みずばしろう
 自然と遊び心も体もリフレッシュ!

「間木ノ平グリーンパーク」が、いま話題沸騰中! ソロキャンパーや女性客専用のテントサイトを開設したほか、五戸町の企業とタッグを組み、焚き火台や鉄板などキャンプギアの貸し出しにも注力。テントサウナ体験も始めました。4月中旬~5月上旬は、同パークから車で5分、北東北最大級のみずばしろう群生地も見頃を迎えますよ! 高原の澄みきった空気の中、羽をのばして楽しんでみては?



問い合わせ先 新郷村ふるさと活性化公社
 TEL 0178-78-2511

■ 共済契約できる自動車

1. あなたの所有する
2. あなたと同一世帯に属する親族（同居の親族）の所有する

- 自家用普通・小型乗用自動車
- 自家用軽四輪自動車
- 自動二輪車 ● 原動機付自転車

■ 共済掛金と共済金額

組合員のニーズに合った選択ができるよう、共済金額はA型とB型の2類型です。

共済金額	用途及び車種 区分	共済掛金額（年間）			
		自家用普通・小型乗用 小型貨物車(660cc超)	自家用軽四輪乗用 貨物車(660cc以下)	自動二輪車 (125cc超)	原動機付自転車 (125cc以下)
A型	対人賠償 無制限	30,000円	19,000円	17,000円	12,000円
	対物賠償 1,000万円				
	自損事故傷害 1,500万円				
	限定搭乗者傷害 500万円				
B型	対人賠償 無制限	33,000円	21,000円	20,000円	14,000円
	対物賠償 無制限				
	自損事故傷害 1,500万円				
	限定搭乗者傷害 1,000万円				

※無共済等自動車傷害共済・他者運転特約も自動付帯。 ※自賠責保険と共済金の一括払も実施しています。

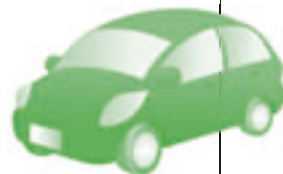
町村生協の自動車共済にご加入の皆様なら！

町村生協の自動車共済にご加入の方のみ、車両共済（保険）に加入できます。
お見積りは無料です。いまずすぐお見積もりをご請求ください。
新規のご契約をいただいた方には粗品をプレゼントします。

- 町村生協の自動車共済加入のマイカーが過去3年間以上無事故で、
今回新たに車両共済（保険）に加入する場合、
9等級(43%割引)・事故有期間0年からスタート！
- 一括払いでご契約の場合は、さらに **5%割引！**
- 他社からの切替の場合、等級の引き継ぎができます。
- 保険料分割払（12回）が選択可能です。ロードサービスも自動付帯！

いつでもご加入いただけますので下記までお問い合わせ願います。

問合せ先 全国町村職員生活協同組合青森県支部
青森県町村会業務共済課 [共済事業] TEL 017 (723) 1331



掛金が一律！等級制度がありません！

自動車共済

青森県町村会等事務分担

(令和3年4月1日現在)

青森県町村会

常務理事兼
事務局長

原田 啓一

課・職名・氏名

主要担当業務

課・職名・氏名	主要担当業務
総務課 参事・総務課長事務取扱 吉本 知己 総括副参事 原子美香子 総括主幹 上原俊一郎 主査 嶋田 裕哉 臨時事務手 福士 佳子 臨時事務手 ※吉岡 美咲	人事、規約・諸規程の改廃、 予算、関係諸団体等との連絡 調整、各業務の調整、総会そ の他の諸会議、総務厚生委員 会、顧問弁護士、表彰、軽自 動車税申告台数調べ、文書の 收受・発送、各団体の予算経 理、現金・有価証券の出納・ 保管、決算、物品の出納・保 管、他の所管に属しないこと
業務共済課 総括主幹 大坂 謙 主幹専門員 澤田 博美 主事 ※伊勢田陸美 主事 前田 啓貴 主事 宮越 彩香 主事 ※庄司 菜摘 臨時事務手 畑井ゆかり	(業務関係) 政務調査委員会、提言・要望、 市町村長・職員の研修、町村 職員採用試験、広報、町村の 魅力発信事業の助成、町村自 治振興調査研究、県広報広聴 協議会、全国山村過疎地域振 興連盟県支部、発電関係市町 村全国協議会県支部 (共済関係) 公有建物・自動車共済、職員 火災・自動車共済、特定疾病 保険、任意共済、団体生命共

※は新採用

小さな掛金で大きな安心

■共済契約できる物件

- あなたの所有する居住用建物およびその建物内にある動産
- あなたと同一世帯に属する親族が所有し、かつ、あなたが現に居住する建物およびその建物内にある動産

■共済掛金と共済金額

共済掛金（年額）は共済契約1口（10万円）につき60円です。
 契約額の最高限度は、600口（建物400口、動産200口）で、6,000万円（風水雪害は450万円）を限度に補償します。

共 済 契 約 の 最 高 限 度 額			
区 分	口 数	共済金額	共済掛金
建物のみの場合	400口	4,000万円	24,000円
動産のみの場合	200口	2,000万円	12,000円
建物と動産を併せた場合	600口	6,000万円	36,000円

風水雪害特約制度

- ◎火災共済契約に任意で付加することができる特約制度です。風水雪害による損害に共済金を支払います。
- ◎この特約を付加することで、火災共済契約の風水雪害共済金に加算して、損害額の50%または火災共済契約額の50%のいずれか少ない額を限度に、風水雪害特約共済金が支払われます。（ただし、風水雪害共済金と特約共済金の支払合計額が3,000万円を超える場合、3,000万円が限度となります。）
- ◎特約共済掛金は、一口（10万円）につき50円です。（火災共済契約の契約口数と同口数を付加していただきます。）



確かな安心を！いつでも申し込み可能

火災共済



青森県市町村総合事務組合

事務局長 原田 啓一

課・職名・氏名 総務課 会計管理者 参事・総務課 長事務取扱 吉本 知己 総括副参事 原子美香子 総括主幹 上原俊一郎 主査 嶋田 裕哉	主要担当業務 消防団員等公務災害補償等に 関する事務、非常勤職員公務 災害補償等に関する事務、自 治会館の管理・運営に関する 事務
市町村税滞納整理機構 滞納整理課 機構長 川崎 了 滞納整理課長 伊藤 義章 副参事 平野 法泉 主幹専門員 金枝 秀樹 主査 芳賀 香織 主事 蝦名 香澄 専任員 高橋 淳一 専任員 藤田 昭 専任員 福井 宏 専任員 横山 麻美 専任員 小原 淳子 専任員 小林 紀子	市町村税等の滞納整理に関する事務

済、個人年金共済、総合賠償
 補償保険、災害対策費用保険、
 消防設備資金の融資

横浜町長

いし ばし
石橋

プロフィール

町議会議員。
現在1期目、79歳。

かつ ひろ
勝大



随想

第49話

菜の花の町

我が故郷

横浜町

横浜町は、昭和三十三年四月に横浜村から町制施行し、下北半島の首位部、陸奥湾に面した臨界山村であり、北はむつ市、南は野辺地町と隣接しており、町を縦貫する国道二七九号線は、国道四号線と下北半島と結ぶ基幹道路で、その重要性を増しているところ

現在では、下北縦貫道路が横浜吹越バイパスまで開通しており、道の駅よこはまを含む周辺エリアを地方創生拠点と位置付け、道の駅よこはま周辺の整備が進められております。

さて、横浜町と言えば、「菜の花」を連想されるかと思えます。

第一回「菜の花フェスティバル」開催は平成三年（一九九一年）五月。当時、「ふるさと創生一億円事業」の使途について協議を重ね、「日本一の作付面積の菜の花の町」としての町おこしを構想し、

町内各団体が構成する実行委員会を組織し、旧通産省支援事業の補助を得て開催したのが始まりでした。



今後とも横浜町の地域資源、素材を最大限活用し、おとずれる人、迎える人との交流の場を作り、菜の花フェスティバルをはじめとしたイベント行事等をさらに工夫をこらし、コロナ禍ではありますが、町経済の活性化に取り組んで参りたいと考えております。

横浜町の「なまこ」の歴史は江戸時代までさかのぼります。鎖国制度により外国との貿易が制限されていた時代であっても、乾燥なまこはアワビやフカヒレと並ぶ、輸出重要品目（俵物三品）として指定され、中国に輸出していました。昭和になり、流通の整備が進むと、「なまこ」は生食として出荷されるようになり、現在に至ります。



例大祭は、秋祭りとして平安時代から続く神社での神事の後に、社殿前の舞台上で神楽舞や手踊りなどの郷土芸能が披露されます。神興渡御では、神輿を中心に前後十三の神楽団体が並んで、にぎやかな笛太鼓、鉦の音とともに町を練り歩きますが、この祭りが終わると駆け足で冬がやってくるものです。

現在、横浜町は少子高齢化、人口減少という誠に困難な問題を抱えております。過疎化に強い地域を目指し、私も職員とともに汗を流し、なんとか町に元氣を取り戻したいという思いで職務に励んで参りたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

